

グループシナジーを高める 経営基盤の強化

5法人のグループ加入により、多様な価値観が混在する中、経営層と現場のギャップを明らかにすると同時に、シナジー効果を高めるための人事制度改革などを後押し。人事総務部門の人材強化にも取り組んだ。

▼ 取り組み内容

Step 1 現状把握
エリア長（課長クラス）へのインタビューや従業員の意識調査を実施。会社の取り組みとのギャップを確認。

Step 2 人事制度改革の支援
Step1で得た結果を裏付けに、着手から数年間、導入が遅れていた人事制度改革の整備を後押し。

Step 3 社内表彰制度の企画
会社の行動指針を意識してもらうため社内表彰制度を企画。トップの考えを社員に届ける仕組みづくりも検討。

Step 4 人材育成
自走可能な組織をつくるため、Step2・3の取り組みを進めつつ、人事総務部門の社員にノウハウを指南。

受入企業

IAAZAJホールディングス株式会社

代表取締役 小田 浩史 さん

2014年に設立。現在は第一編物、エイゼット、アートジョイ、ST創和、母袋産業、エムケーの6社で構成し、生地から染色・縫製そしてアパレル製品の企画・販売まで、グループ内で一貫生産ができる体制となっている。主力はカーシート、スポーツアパレル、メディカルの3分野。子供服やアウトドアウェアの自社ブランドも展開している。

協力研究員

山西 久雄 さん

東京都出身。東京大学経済学部卒業。米カーネギーメロン大学でMBA取得。1999年にNTTデータに入社。新規事業の立ち上げなどに従事する。2008年楽天に入社。海外事業の立ち上げや経営管理、人事に携わる。その後、トーマツイノベーションで人材コンサルティングなどを手がける。2018年に独立、起業した。



富山“Re-Design”ラボ 事例

CASE:

シナジー増大へ
経営基盤を強化し
グループを一体化



取り組みの成果
・
今後の取り組み

- ・エリア長（課長クラス）へのインタビューや従業員アンケート調査の結果を統計学的手法で分析。人事制度改革の方向性が間違っていないことを明確にすると同時に、対策の必要な課題も明らかにした。
- ・構想から数年間、滞っていた人事制度改革の導入をサポート。2024年開始に向けて先鞭を付けた。
- ・会社の行動指針を意識して働いてもらうとともに、具体例から学べる機会をつくるため社内表彰制度を企画。経営方針などトップの考えや共有すべき情報を従業員に届ける仕組みを検討した。

🏢 受入企業の評価・今後の関わり方

参加理由

- ・2017年から6年連続でM&Aを実施した結果、従業員数が200人から400人に増え、拠点は北海道から九州にまで広がりました。働き方の統一や会社からのメッセージの浸透を図り、一つのグループとしてシナジー効果を高める土台づくりを進めたいと思い参加しました。

評価（成果・社内変化など）

- ・人事制度改革は当初、2021年開始を予定していましたが、自社のリソースだけではなかなか進められませんでした。優秀な若手人材の採用に加え、山西さんが最後の一押しに力を貸してくれたおかげで、24年から導入できる目途がつかえました。
- ・会社の急激な変化が、人事総務部門に混乱を招きましたが、山西さんのアドバイスが助けとなり、同部門メンバーは会社の方針をしっかりと理解し、目的意識を持って動いてくれるようになりました。
- ・半年間という事業期間の中で、お互いに目標を決めてトライアルできるこのプログラムは、初めて外部人材を活用する企業にとっては使いやすいスキームだと感じました。

今後の関わり方

- ・今回の取り組みを契機に実施するさまざまな対策は、来年1月からスタートする経営計画に盛り込みます。山西さんには、今後社内で起きる変化と一緒に見守っていただき、必要に応じてサポートを相談していければと思っています。

👤 協力研究員の評価・今後の展望

参加理由

- ・これからの針路を模索する中で、このプログラムを知りました。今まで仕事をしたことのない地方で、そして携わったことのない製造業で働くことに好奇心を刺激されました。また、祖父は富山県出身です。訪れたことはなかったのですが、地縁を感じて申し込みました。

評価（取り組み・生活）

- ・人事制度改革などは、私自身が推進役になってしまうと退任後に会社に何も残らないため、人事総務部門に入社した優秀な若手人材と一緒に進めながら私の考えや経験を伝え、自走できる組織づくりを意識して取り組みました。
- ・社内に溶け込み、人間関係を構築しながら仕事を進め、与えられたミッションをしっかりと遂行できた点は評価できると自負しています。
- ・他の研究員とは互いに自分の抱えている課題について相談しあったり、飲み会や旅行などを楽しんだりしました。地縁のない場所で半年間生活する中で仲間の存在に大いに助けられました。富山県や富山大学など公的機関のバックアップも安心感がありました。

今後の展望

- ・具体的にはまだ決っていませんが、IAAZAJホールディングスさんとは、何らかのかたちで関係を継続できればと考えています。コンサルティング業務とは別に保育園を作りたいという夢があり、起業と同時に大学院でも学び直しましたので、いつかは実現させたいです。